

会員便り

戦後61年

遠ざかる記憶 今伝えねば!!

今日は8月15日です。

小学校6年のその日、父の故郷新潟県出雲崎町で、ガーガー音のする天皇の玉音放送を聞きました。

支那事変、大東亜戦争と沢山の兵隊が亡くなり、親族の者の戦死、内地では空襲で多くの人が焼死しました。食糧は全て配給、鉄類の強制供出。

大阪環状線の京橋と森ノ宮の間は軍需工場で、15日の朝爆弾が落とされ旧制中学、女学生達も含めて大勢の人が亡くなりました。

現在、音楽会でいずみホールへ行く時、大阪城公園で降りて歩きますが、私はいつも、この下にまだまだ沢山の遺骨があるのだからと・・・胸が痛みます。

そして昭和20年初夏の大阪空襲、(近鉄の久宝寺に私は住んでいました)大阪の空が昼間なのに真っ黒でした。B29の爆音は今も耳に残っています。

昭和20年春、東大阪市(現在)の布施の辺りの住宅密集地は敵の標的になるとの事で強制的に家を壊されました。

その時小学生達はその現場に行き瓦を2枚ずつ荒縄で縛って、八尾の学校まで歩いて運びました。何故だったのかいまだに原因が解らず常にあの光景を思い出します。

戦局が激しくなると南の島で大勢戦死しました。硫黄島玉砕、アッツ島玉砕等々次から次へと大本営発表があり、その時も必ず”名譽”という言葉をつけていました。

いよいよ沖繩決戦、広島・長崎の原爆、8月9

日にソ連との開戦、そして敗戦、近衛文磨の自害。昭和22年頃だったと思

います。G H Qにより財閥の解体、民間人の銀行預金の封鎖・凍結。私は昭和20年6月に父

の故郷越後に疎開しました。冬は雪の為汽車が遅れますので、旧女学校1年生(昭和21年)の時から学校の寄宿舎に入りま

したが定期の停電、ローソクの火の下での夕食等、でも何処か人々の心は温かでした。

父は23年に再び大阪に戻り、仕事を始めました。時々の便りに大阪駅前

の戦争孤児の話、メチルアルコール(当時は酒類もなかった)で失明した人の事など聞きました。

昭和24年まで疎開先の越後に居ましたが、満州の奥地から引き揚げてきた人達はボロボロの着物、女性は丸坊主頭で、それはロシア人に強姦されな

いたために男装、昭和23年頃ようやく故郷に辿り着いた姿は忘れられません。昭和24年の12月に豊

唯一、一応独立国になった故、沢山の外国文化が入って来ました。映画、音楽等、とにかくむさぼる様に低料金で鑑賞出来る様

先日「戦争を知らずに僕たちは育った」時代の方から「玉砕って何？」と質問され少しづつあの悲惨さを語り伝えねばいけないのではと思っ

61年間日本は平和です。いつまでも平和でありま

すように!! N・Y

甘辛チャンネル

正しい母国語を身につけて!!

今小学校で英語の授業が導入されて外国人の講師に頼り、主に会話が中心であるとか。

これからは益々グローバル社会で活躍する子ども達にとって英語は必要である。

然し、原点に戻して日常話している言葉(母国語)をまず正しく習得する必要

がある。昔も日本語を变形して歌った事がある。つない

デコちゃん 野道を行けばバリカン：、でもこれはあくまで遊び言葉で、人と話す時は正しい言葉で話していた様に思う。

子供が話している時に耳障りな言葉で口げんかしている時「キモい!!」即ち「気持ち悪い」の略語のよう

私の身近な子供が「キモい」、私はすかさず「気持ちが悪いのだったらいれに行つて胃の中のもの

を吐いてらっしゃい」と。今きちんと話す機会が希薄になっており、言葉の持つ文化が廃れて来ている事を憂います。

編集後記

まず母国語(日本語)を正しく身につけて!! そうする事により正しい英語も習得出来るのではないかと思います。

蝉時雨の音がしなくなつたと思つていると、いつのまにか家の周りは虫たちの合奏音楽で賑わっています。

《秋来ぬと、目にはさやかに見えねども、風の音にぞ、驚かれぬる》 実感です。 S・N

四季彩 ヒマワリ

(向日葵)

原産は北アメリカ、16世紀にイギリスに伝わり、太陽の花と呼ばれはじめた。

和名：ヒマワリ

別名：「日輪草」(ひぐるまそう)

花言葉：「私の目はあなただけを見つめる」「すばらしい」。

花が太陽の動きにつれてまわることから「ひまわり」。ただし、「花首の柔らかいつぼみの時だけ、太陽の方向を向き、夜に向きを戻す。」「花が咲いてからは、東を向く」、「本当は全然まわらない」など諸説あり。でも、「太陽の方向にくるくる回る」と云うのが分りやすく面白い。

種子は食用になる。種子から採った油は、石鹸や塗料の原料になる。茎や葉っぱは家畜の飼料になる。

T・N

《髪に挿せば かくやくと射る 夏の日や 王者の花の こがねひぐるま》 晶子

